

高 円 寺

図 書 館

FEBRUARY

2

杉並区立高円寺図書館

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南

2-36-25

Tel 03-3316-2421

新しく入った《老いてますます元気になる》本

100歳まで
読書

轡田隆史著
三笠書房



「死ぬまで本を読む」知的生活のヒント。「年を取ると、たしかに読書はちょっと大変だ。文字は読みにくくなるし、集中力も長くはつづかない。〜〜だから、ちょっとした工夫の発想転換が必要になってくる。年を重ねたものの、成熟した本の読み方、楽しみ方。そのヒントをぼくなり提案できればと思う。」(著者)



私はわたし、
80 過ぎてても
おしゃれは続く

木村眞由美著
KADOKAWA

82歳のファッションista！
79歳の時に自身のインスタグラムから始まった著者のファッション情報発信は「お洒落」という一言にとどまらない・・・
自由、上品、小粋、キュート！！
ファッションコーディネートのお手本であり、美しく年を重ねる教科書でもあります。

マッちゃん
84歳人生
店じまいは
ムズカシイ



沼野正子著
岩波書店

84歳で現役の絵本作家、イラストレーターの著者が自身の後半生を振り返り、この年でわかったことや気づいたこと、まだまだわからないことなどをシニカルにコミカルに描いたコミックエッセイです。

101歳現役医
師の死なない
生活

田中旨夫著
幻冬舎

101歳の著者は、いまだに現役医師として毎日患者さんを診察。今はスマホでLINEを使いこなし、仕事とプライベートを思いっきり満喫しています。なぜそんなに頭もクリアで、仕事もバリバリこなせるのか。その秘密を紹介しています。

『物語の中の高円寺』

高円寺といえば昭和レトロな雰囲気を残しつつもサブカルチャーのいきがいい！そんな街の片隅にあった「高円寺文庫センター」この本はその店で長年店長を務めた「のがわ★かずお」さんが書かれた本です。出版社による紹介文を引用します。

『あの忌野清志郎が「日本一ROCKな書店」と激賞した、高円寺のかたすみにある小さな書店。

たった25坪の書店に、相原コージ、高田渡、町田忍、ダンカン、みうらじゅん、森本レオ、遠藤ミチロウ、山本直樹、中島らも、杉作J太郎ら日本サブカル界のキラ星のような

才能が集い、お客さんと共に盛り立てました。

本書は、高円寺文庫センターを日本一のサブカル書店に育てあげた元店長が語る、みんなを笑顔にした伝説の本屋の物語です。』

残念ながら2010年に閉店してしまいましたが、こんな本屋が存在していたという事が高円寺という街の奥深さ。そして、この先いつかまたこんなに個性的でいきいきとした店が出現する日を楽しみに・・・

ちなみにカバーのイラストはリリーフランキーさんです。



のがわ★かずお著
秀和システム

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 休館日	4	5 お話し会	6	7	8
9	10	11 高円寺図書館寄席	12 赤ちゃんタイムお話し会	13	14	15
16	17	18	19 お話し会	20 休館日	21	22
23	24	25	26 お話し会	27	28	29

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 休館日	3	4 お話し会	5	6	7
8	9	10	11 赤ちゃんタイムお話し会	12	13	14
15	16	17	18 お話し会	19 休館日	20	21
22	23	24	25 お話し会	26	27	28
29	30	31				

《開館・貸出時間》
月～土
午前9時～午後8時
日・祝
午前9時～午後5時

《休館日》
第一月曜
第三木曜
* 祝日と重なった
場合は翌日